岩盤ボーリング柱状図

調査名	廿日市市新機能都市開発構想計画に伴う一般県道廿日市環状線道路改良事業　設計業務
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	道路　道路路盤

ボーリング名	№2	調査位置	廿日市市平良地区外	北緯	34° 21′ 38.4437″
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所	調査期間	令和2年11月20日～ 令和2年11月20日	東経	132° 19′ 46.8204″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	32.02m	角度	180 上 90 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	4.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機D2G / エンジン：ヤンマー　ＮＦＤ１２ / ポンプ：東邦地下工機BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 (cm) / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日
1	30.52	1.50	△△△	崖錐堆積物	茶褐～灰							(100)	シルト質砂よりなる。不均質でφ3mm前後の小礫集中部や谷底を埋める崖錐堆積物である。	11/24 1.30
2	29.62	2.40	+ + +	花崗岩	茶褐	w5	h3	D	VI	d	DM	Q[0](100)	鉱物は風化し、軟質。砂状を呈し、コアは手で崩れる。	
3	28.02	4.00	+ + +	花崗岩	桃～褐	w4	h2	C	IV	c	CL	Q[0] 10[10](100)	ピンクのカリ長石が目立つ、粗粒花崗岩。ハンマーの軽打で簡単に崩れる。GL-3.1～3.6mは縦方向の幅1mmの粘土細脈が入る。短柱状コアとなる。微細な水平亀裂有。	
4														
5														
6														
7														
8														
9														

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
2	1.15	2		
	1.45	300		
50以上	2.10	50	170	
	2.27	170		
50以上	3.05	50	50	
	3.10	50		
50以上	4.00	貫入不能		

原位置試験

室内試験：1.15 物理的粗度 / 1.45

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
11/20		86	S/MC		120	0	W1/0	0
	150		D/DC	0	120	0	W3/3	1
	120			0	120	0	W3/3	1